

「今やろう」 防災

校長 濱渦 孝治

長期休業中、児童・生徒に大きな傷病や事故はなく、全員元気に9月の新学期を迎えられたことについて、保護者の皆様、両施設の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

この夏、8月8日には宮崎県で震度6弱の地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されました。また、大型の台風10号が九州を中心に大きな爪痕を残し、台風から離れた場所でも想定外の雨量による河川の氾濫や土砂災害等により、日本各地が災害に見舞われました。自然現象は人の力では防ぎようがありません。大自然に畏敬の念を抱きつつ、私たちは知恵と工夫により常に有事に備えていく必要があります。

9月は防災月間です。東京都では「東京防災」を作成し、災害時の自助・共助の普及を図っています。本校も全教職員が「東京防災」を利用し、命を守る指導を行います。本校の防災に関する9月の取組を二つ紹介します。

- ① **袖ヶ浦のびろ学園登下校バスの連絡訓練** 9月2日(月)：バス乗車時の防災を想定し、学校とバス乗務員、袖ヶ浦のびろ学園、三者での連絡訓練を行いました。道路陥没やがけ崩れによる渋滞等、バス運行に困難が予測される際には学校から教職員が駆け付け、児童・生徒の安全を確保します。訓練ではバスの携帯電話で学園及び学校に連絡、その後学校から教員が停車しているバス(訓練時は本校大駐車場)に向かい応援体制をとる訓練をしました。
- ② **引き渡し訓練** 9月10日(火)：首都直下型地震の発生を想定し、学校危機管理計画に基づき危機管理委員会を招集し、体育館に一斉避難後、教員の引率による下校及び引き渡しの訓練を行いました。福祉園の生徒は、通常の登下校ルートである地下道は危険であると判断し、地上ルートを通り下校しました。のびろ学園の児童・生徒は、訓練の雰囲気を感じ取り、バスが到着するまで静かに体育館で待機できました。

本校でも、改めて学校危機管理計画が実態に合ったものであるか確認し、教職員一同が速やかに対応できるよう、訓練を行ってまいります。

さて、9月25日(水)には、授業参観及び保護者会へのご出席ありがとうございました。毎学期の授業参観は、お子さんの学習を見ていただくとともに学校からの情報発信、また個別指導計画等の懇談の機会としても、大変重要です。保護者の皆様、両施設の皆様のご意見を参考にして、日々の授業改善をすすめてまいります。全ての児童・生徒が見通しをもち、それぞれの目標達成に向け学習効果を上げられるよう、力を尽くしてまいります。今学期も保護者の皆様、両施設の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



東京防災最新版はこちら↓



本校の教員研修について

主幹教諭 大澤 弘幸

東京都では、「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づき、年次や職層に応じた研修制度が充実しています。

本指標の基礎形成期と位置付けられている若手教員(1年目から3年目まで)は、東京都若手教員育成研修としてシラバスが定められています。本校でも、東京都若手教員育成研修のシラバスに準じて校内の研修計画を立て計画通りに遂行しています。若手教員の校内研修に関しては、担当指導教員を中心に、内容に応じて主任教諭や主幹教諭、管理職が講師となり研修を進めています。

また、基礎形成期から伸長期になった4年目の教員に対しては、自身の授業改善や、学校経営への参画、同僚への指導・助言の力をつけるために主幹教諭や外部専門員より研修を計画的に行っています。

校内の全教員に対する研修では、夏季休業日中を中心に様々な研修を企画・立案・実施しています。児童・生徒の実態把握、指導方法、指導内容、教材から、ICTの活用、人権について、施設連携について、進路に関わること、東京都の施策等についてと、様々なことを学びました。

併せて、東京都では、専門性向上研修も充実しています。教員自身が教科等や教育課題で学びたいこと、課題にしていることを明確にし、自ら学んでいます。

今後も教員が常に主体的に学び続けることができるよう、校内の研修体系を充実させていきます。

10月の予定

1	火	都民の日
2	水	眼科精密検査 身体計測 (中学部)
3	木	身体計測 (高等部)
4	金	身体計測 (高等部)
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	眼科精密検査 身体計測 (小学部)
9	水	避難訓練 (火災) 眼科精密検査
10	木	
11	金	小学部4学年校外学習
12	土	
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	
16	水	
17	木	しいの木集会、安全指導日 短縮授業日 (13:50 下校)
18	金	55周年を祝う会 高等部入学相談説明会
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	摂食指導
24	木	
25	金	漢字検定
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	学校公開 保護者通信発送日

小学部

授業が始まる前に、子供たちは、授業ごとの活動スケジュールの写真を期待感をもって見てくれています。

社会性の学習では、エプロンシアターでの「ジャングルポケット」が人気です。カバなどの人形に、児童が食べ物をあげる活動が入りますが、人形がパクパクと食べ物を食べる動きを、嬉しそうに見ています。

生活単元学習では、10月のキッズダムへの校外学習に向けての事前学習が始まりました。教員手作りのリアルな切符販売機と改札機に、子供たちの気分もぐっと上がり、背筋も伸びます。楽しみながら、切符の買い方や、改札機の通り方など、公共施設の使い方を学んでいます。



これからも、子供たちが新しい学びにわくわくする気持ちをもちながら臨める授業作りに努め、学びの楽しさを子供たちに伝えていきたいと思えます。(文責：森 澄美子)

中学部

9月19日(木)に就業体験を実施しました。学校周辺にある生活介護施設の「ワークショップ表」に行き、ウォーターサーバーの蛇口の分解や仕分けの仕事を経験させていただきました。初めての環境でしたが、決められた量の部品の分解や仕分けを行うことができました。働くことに必要な力や卒業後の生活に必要な力を改めて考えるよい機会となりました。今後も生徒一人一人に応じた指導や自立に向けた指導を意識して、教育活動を行って参ります。

9月20日(金)、榎の実特別支援学校の交流学习を行いました。今回の交流学习は、1年生と2・3年生の学年に分かれて保健体育の授業「Tスロー」を行いながら、榎の実特別支援学校の生徒との交流を楽しみました。「ボッチャ」に似た球技で、的にめがけてボールを投げるゲームでした。得意なボール投げの活動を十分に交流の場で発揮することができました。(文責：山田 麻衣)



高等部

高等部では、10月18日(金)に行う「55周年を祝う会」に向けて様々な準備を進めています。会で歌うテーマソングは、音楽の授業等を使い生徒からキーワードを集め、作詞しました。学校内の好きな場所や思い出の場所を写真撮影し言葉に起こしたり、ディスカッションをしながら「しいの木らしさ」を考えたりしました。ゆったりとしたメロディーは音楽科の教員がチームとなって作曲しました。しいの木集会での歌練習では、代表生徒が気持ちを込めて歌いました。

他には、作業学習で、看板や当日掲示する式次第、記念品の作成をしています。記念品は陶芸班で製作した、カップ&ソーサーです。昨年度末に試作品を複数製作し、新年度が始まったらすぐに製作できるよう準備をしてきました。陶芸製品は完成までにとっても時間がかかるので、出来高を確認し個数管理をしながら目標個数を達成できるよう頑張りました。「55周年を祝う会」はお祝いなので、生徒たちは嬉しい気持ちもありますが、学校としての区切りの会ということも分かっています。この区切りを今後の心の支えとできるよう生徒たちを支援し、よい会になるよう準備を継続してまいります。(文責：古山 武)